

国際結婚と心理機能！

カタギ:おはようございます。

3人;おはようございます

だいすけさん:心理機能デイリーセッション、ダイナミックカフェ、

今日のテーマは「国際結婚と心理機能」です。

カタギさん、宜しくお願いします

カタギ;国際結婚ってあると思うんですよ、

で、国際結婚、したいな、とか、最近は、
グローバル社会、って、ちょっとね、
異国の、自分と生まれた国が違う男性、だったり女性だったり、

まああなたがね、男性だったら、女性、
あなたがね、女性だったら男性と、こう、
夫婦になって結婚して、国際結婚興味ある！
って人がいると思うんですけど、

どうですか、だいすけさん、国際結婚、
う～ん、違う国の人と結婚して、
まあ、だいすけさん、まだ若いんで、
結婚とかに興味はないかもしれませんが、
どうですか、国際結婚とかって、
してみたいな、とかありますかね？

だいすけさん:え、国際結婚まではいかないですね。やっぱ。

カタギ:ああ、国際付き合い、、

国際結婚までいかない、ってどういうこと。

だいすけさん: ああ、海外の女性と幅広く関わりたいな、

っていうのは思いますけど、結婚となると、ちょっと、
まだちょっと怖いな、って。

カタギ: ああ。結婚するんだったら、日本人の方がいいぜ、
ってことですか？

だいすけさん: うん、まあ、安心って感じですよ。

カタギ: なるほど。どうですか、じゃあ、フミさんは
どうですか、国際結婚、そのなんか、興味ありますか？

フミさん: う〜ん、まあ面白そうだな、と思いますね。

カタギ: うんうん。結構いいですよ。

うん。国際結婚したいな、とか、してるな、とか、
あの、そういう人とかってよくいると思うんですけど、

うん。で、結構偏りがあると思ってって、
あの、やっぱりその日本人とかおんなじ国籍同士の方
が安心できるよ、っていう層、そういう意見も、
やっぱり根強くあると思うんですよ。

うん。だから、結構、そのタイプによって、その人の
性格によって、国際結婚好きな人と、あんまり
嫌いな人とかいると思うんですけど、でも、結構、
その国際結婚とかね、外国人、よく、特に女性ですよ、
外国人の男性と付き合って結婚してるな、この人は、

っていうかね、このタイプは、っていう心理機能
16パターンで考えると、このタイプやたらと、
多分比率的に多いな、ってタイプがいるんですけど、

どうですか、千葉さん、国際結婚で、海外の男性と、結婚して、夫婦になって、っていう、国際結婚率がおそらく、僕の調べによると高そうな、高い、っていう、そういうタイプがいるんですけど、

なんか、予想はありますか？

千葉さん:え～、そうですね、ENFP？

カタギ:ああ、ENFP、そっか。そういう知り合いとかいますか？

ENFPの男性、女性で外国人のカップル。

千葉さん:いや、全然身近な事例とかではないんですけど、

カタギ:ああ、なんか、外的直観だから、新しい可能性、

国籍も新しい、ってね。うん。

千葉さん:そうです。

カタギ:なるほど、って思ったんですけど、

いや、でも、その、そうですね、僕も同意見っていうか、外的直観機能が、国際結婚とかに、絡む、っていうのは、よく分かりますね、ホントに。それはそうだと思います。

ただ、ENFPとか、ENTP、外的直観がメイン機能に入っている連中よりも、多分多いのは、ESTJと、ESFJですね、この2タイプの、特に女性ですね、

で、外国人の旦那と結婚、っていう率はすごい高いですね、見ても、おそらく。ESTJとかESFJが、第3機能に外的直観機能が入ってるんですよ、だからそこで、新しい刺激とか可能性とか、それを求めて、そういう、

で、だいたい彼女たちの場合は、その、ヨーロッパとか、アメリカですね、ちょっと、そんな、なんか、インド人と結婚、とかあんまないですね、そうじゃなくて、なんか、ニューヨークなんとか、とか、そういう所の、男性と結構、結婚する、っていうのが非常に多いですね、

これ、どうですか、千葉さん、言われてみたら、なんか、思い当たる節があるかわかんないけど、なるほど、って感じですかね？

千葉さん:う～ん、なんか、僕の身近であんまないんですけど、

でもなんか、う～ん、映画とか、そういう中で、そういう系もあるのかな、って。

カタギ:映画。笑

そうですね、ESTJ、ESFJの女性は非常に多いですね。

あの、ESFJでいうと、僕が最近、最近というか、エミさんとかね、まあ、ちょっとプライベートなことはね、ちょっとアレなんで、アレにしておくんですけど、

ちょっとまあ、思い当たるフシがある、ってよく言ってたんで、ESTJ、多いですよ、ESTJもESFJも、まあ、それはいいんですけど、でも、結構、注意したほうがいい、っていうか、で、結構、それで付き合っ、夫婦になって、結婚して、幸せでどうの、っていうんだったら、まあいいんですけど、

やっぱり、ESTJ、ESFJはサブの内的感覚の方が強いんですよ、だから、なんとなく、最終的には、やっぱり、その、自国文化が好きっていうか、その、伝統というか、大体アレですね、あの、ごはん、っていうところで、問題になっているケースが多くて、僕の友人とかでもESTJとかいるんですけど、女の子で、

もう、すでに僕の年で、別れたい、とか言って、やっぱり

最終的には、和食が食べたい、って、和食って行って、
最初の方はクロワッサン、オシャレ、パスタ、とか言って、
喜んでるんですけど、やっぱり、なんか、最終的には、
私は日本食の方が好きだ、とかなんか、それが
分かったとかいい始めたりして、やっぱり朝はお味噌汁が
飲みたい、って言い始める、

どうですか千葉さん、これは有り得そうですかね？

千葉さん:うん、すごいなんか有り得そうだなって。

カタギ:だから、何が言いたいかっていうと、

ESTJとESFJの特に女性はね、あの、二十歳前後の時に、
第3グループで、結構クラブとか行って、外国人が集まる、
で、ちょっとそこで、外国人もいいかしら、って言って、
第3に入ってしまったって、で、国際結婚っていうのが、
非常に多いんですけど、でも、最終的に結構、

年取ってから後悔する、っていうそういうケースが多い、
らしいんで、まあ、ちょっと注意して欲しいかな、
ってそういうことですね。

だいすけさん:はい、ありがとうございました。

その、なんでしょうね。

え〜っと、これはなんか、ESTJとかESFJとか、
外的直観がその、なんか、第3に来てるから、
外的直観かな、と思ったんですけど、

その、サブとか、メインに、外的直観来てる
タイプは、あんまり思わないんですか？

カタギ:ああ〜。国際結婚したい、なんか、こう、

思うと思いますし、アレですね、逆に、国際結婚
向いているタイプは、外的直観がサブとかメインとか、
来てるタイプは向いているかもしれないですね、

向いているし、まあ、別に、積極的にしたほうがいい、
ってわけではないでしょうけど、良いとは思いますがよ。

後は世界観機能の二人、ENTJとENFJも、向いている、
というか、抵抗はなさそうですね、うん。
それは思います。だから、ENTPとかENFPは、結構、
やっぱり、さっき千葉さんがおっしゃったように、
国際結婚にそんな抵抗はないと思うんで、

あの、ね、国際結婚してるカップルとかも
いると思いますし、僕のタイプですね、
INTPとか、INFPとかは、したほうが、
したほうが、っていうか、なんだろう。

うん、したほうがいいっていうことは
ないかもしれないけど、やっぱり、ねえ、
国際結婚とかして、サブ機能の、外的直観、
新しい価値観というか、それを磨く、っていうのは、
オススメ出来る、のかもしれないですね。うん。

だいすけさん:はい。分かりました。

千葉さんは国際結婚したいとかっていうのは
ありますか。

千葉さん:僕ですか。そうですね、う～ん、

いや、ないかな。ないですね。僕はそんなに。
日本人の女性が、かわいいな、って思います。一番。

だいすけさん:ああ。

カタギ:だから逆にいうと内的感覚が、世界観だったり、

メインとかサブに入っているタイプは、あんまりオススメできない、
そういうこというのもアレですけど、まあ、なんか、指針を
授けるとすると、そうかもしれないですね。

だから逆にいうと、INTPとかINFPとか、僕も含めてなんですけど、
は、普通に通常に考えると、いや、ちょっと、日本人女性っていうかね、
同じく国の、生まれのほうが、保証できるというか、安心できるっていうか、
そっちを選びがちだと思うんですけど、でも、新たな選択肢っていうかね、

国際結婚もいいぜ、っていうのは、これ聞いている中で、サブ機能に
外的直観が入っているタイプは、やっぱり、考えてみたらいいのかな、とか。

僕はどうか、って思うと、うん。昔だったらね、国際結婚、、ん、、
でも、昔でも、僕は結構留学とか行ってたんで、まあ、いいかな、
とか思ったんですけど、でも二十歳前後の時は、それはないだろう、
やっぱり日本人の方がそもそも、俺は和食が好きだ、って言って、

そんなクロワッサンは食べたくない、クロワッサンじゃなくてもいいけど、
って思ってしまう、と思うんですけど、でも、サブは、外的直観はたしかに、
国際結婚もいいよ、っていうのは、確かに、よく言うんですよ。

確かに。確かに国際結婚は、悪くない。メリットが大きい、っていうか、
僕が考えるとしたら、どうか、まずやっぱり国籍がもらえる、っていうのが
大きいですよ。国籍っていうか、子どもに、日本国籍以外の国籍を
まあ、その国の、国際結婚する、相手の、国籍のその国の法律とか
ルールによって変わると思うんですけど、まあ大抵の場合は、両方の
国籍をもらえるっていう可能性があるし、

で、パスポートとか、まあパスポートはでも、まあ、日本のパスポートは
強力なんで、まあそんなにいらなないかもしれないし、けど、まあ、
国籍は2つくらいあると有利っていうか、なんか、色々、保険もらえたりとか、
悪くないですよ。あと、言語ですね。言語っていうか、子どもがだから、
二カ国語くらい喋れるといいだろうし、僕自身もその、奥さんの言語に
多少触れることになると思うんで、自動的に、こう、言語学べるでしょうし、

だから、結構メリット大きいっていうか、いいな、って思うんですよね。
サブで考えると、で、あとは、その、ビジネス的に考えても、その、
市場っていうか、僕は結構こういうビジネスとかやってるんで、
心理機能なんとか、って言って。そのマーケットにできる、っていうか、

例えばインド人の、奥さんと結婚したら、インドの人に向けて、
ああ、なんか、心理機能いいですよ、って言って、なんか教える、
塾とか作れるかもしれないし、うん。で、その、ね、奥さんが
インド人だったら、なんかそれは税金がこうなる、とか、有利になる、
外国人がやるよりはいいだろうし、お客さんに対しても、
あ、この人、日本人、って言って、最初は警戒されるかもしれないけど、
奥さんがインド人、だったらまあ、安心できるとか、だからやりやすくなるだろうし、

だから結構、サブ、サブっていうかね、う～ん、悪くないですよ、
そう考えると、国際結婚、うん。ただ、第3と劣勢は、ちょっと
え～って言って、なんか、ブーブー言ってますね。
う～～～ん、なんか、そんな感じでした。はい。

だいすけさん:はい。

え～、フミさんは、いかがですか。
国際結婚したい、とか、ありますか？

フミさん:そうですね、今の話、カタギさんの話を聞いていると、

いやなかなか面白そうだな、と思って、
やっぱりなんというんですかね、世界が広がる、っていうか、
自分のやれることとか、見える視野とかが広がる、っていうのは、
すごい、こう、良いことだなって思って、

はい、もう、結構、今の話で、心がこう、ビクンと
動いてましたね。

カタギ:でもデメリットも、やっぱりあると思ってて、

そのご飯とかもそうだし、生まれた子どもがまず、
多分いじめられる、とかね、あの、結構、悩むことが
あると思うんで、僕はどっちの人間なんだろう。。

日本人なのか、インド人なのか、って。インド人じゃないけど、

どっちか、それは結構聞きますね、ハーフの子とか、
結局、どっちも、インドにいても、お前、日本人だろ、
とかいって、なんか言われたり、で、日本にいても、
お前はハーフとかいって、なんかね、言われたりとか、

ハーフだから逆になんかずるい、とかいって、
いらぬアレを言われたりとか、それもあるし、
だから、デメリットもあるというか、

なんとなく、感覚、感情的には、
結構、メリットは少ないんですよ、
でも、思考、直観で考えると、
いいかな、ってそういう感じなんですよ、僕の中では。

でも、僕はそうですね、思考と直観がメインと
サブに入っているんで、したほうがいいのか、
とかね、なんか、でも、多分、そうですね、

だから、いい部分だけではないですよ、
フミさん。

フミさん:はい。

なんかそういうこと言われちゃうと、ちょっと、
あの、サブと第3で、ちょっとごっちゃに
なっちゃうので、あの、あんまり、考えないようにします。

カタギ:はい。

だいすけさん: それでは今日のテーマは、国際結婚と心理機能でした、

それではみなさん、今日も元気に頑張って
いきましょう、それでは、バイバイ!

